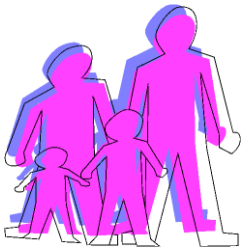


家庭科

学習指導計画

家庭科の学習目標

人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域生活を創造する力と実践的な力を育てる。



教科：家庭
科目：家庭基礎
履修：2年
共通
2単位

年間授業計画

科目	学年	履修	単位	使用教科書（出版社）	主要補助教材（出版社）
家庭基礎	2	共通必修	2	新Agenda 家庭基礎（実教出版）	生活学-Navi-（実教出版）
学習の留意点	<p>「課題意識」「目的意識」を持ち、家庭科を「なぜ学ぶのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を理解し主体的に取り組む。 実験・実習のある教科なので、準備を怠らず、安全に留意して行う。 班活動が中心となるので、班長を中心に、積極的かつ協力的に取り組む。</p>				
	単元	学習単元		学習事項等	
前期	4	(1) 人の一生と家族・福祉 1 生涯発達と家族 2 乳幼児の発達と保育/福祉 3 高齢者の生活と福祉		(1) 人の一生と家族・福祉 ①家族について考え、ライフコースを描く ②人の一生にかかわる制度や多様な生き方を理解し、自分の暮らしや生き方を考える。 ③子供の発育、発達を理解し、環境作りを考える。 ④子供の遊び、生活を理解し、親の役割を考える。 ⑤高齢者の心身の特徴や生活、高齢社会の問題点、高齢者福祉の現状を理解し、自分の生活や地域と関わっていることを確認する。	
	5				
	6				
	7	(2) 家族の生活と健康 1 衣生活の管理と健康		(2) 家族の生活と健康 ①衣生活について学ぶ	
後期	9				
	10	2 食生活の管理と健康 3 住生活の管理と健康		②食生活について学ぶ。 調理実習、実験など体験学習を通し食生活と健康について理解する。	
	11	(3) 消費生活と環境 1 家庭の経済と消費 2 消費行動と環境		③人間と住まいについて考える。 家族の生活行為と住空間との関わりを理解する。	
	12			(3) 消費生活と環境 ①家庭生活に即した経済を考える。 ②消費生活と資源、環境の関わりを考える。	
	1				
2					
評価の方法	<p>前期末、後期末試験を行います。 製作物、レポートなどの提出</p>				

情報科

学習指導計画



教科：情報
科目：情報 I
履修：1年
共通
2単位

情報科の学習目標

- (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用についての理解を深め技能を習得する。
- (2) 情報社会と人との関わりについて理解を深める。
- (3) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (4) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

年間授業計画

科目	学年	履修	単位	使用教科書（出版社）	主要補助教材（出版社）	
情報 I	1	共通必修	2	情報 I ADVANCED （日本文教出版）	ベストフィット情報 I （実教出版）	
学習の留意点	<p>① 情報デザインがコミュニケーション手段であることを理解し、情報デザインによって問題解決ができるようになること。</p> <p>② アルゴリズムを実現するための手段の一つがプログラミングであることを理解し、プログラムによって問題解決ができるようになること。</p> <p>③ データ分析が意思決定の重要な判断材料であることを理解し、データ分析によって問題解決ができるようになること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記①～③を実現するため、コンピュータを活用しながら思考できるレベルまで操作スキルを上げるよう努力すること。 ・ よりよい情報社会にするために貢献できる能力と態度を身につけ、学習したことを日常的にコンピュータやネットワークの利用で生かし実践すること。 					
月	学習単元			学習事項等		
前期	4	❖ 問題解決			❖ データの収集と整理／ソフトウェアを利用したデータの処理／統計量とデータの尺度／時系列分析と回帰分析／モデル化とシミュレーション	
	5				❖ アルゴリズムとプログラミング／プログラミングの基本／配列／関数／探索のプログラム／整列のプログラム	
	6	❖ プログラミング				
後期	7				❖ 情報と情報社会／問題解決の考え方／法規による安全対策／個人情報とその扱い／知的財産権／産業財産権／著作権	
	9				❖ コミュニケーションとメディア／情報デザインと表現の工夫／Webページと情報デザイン	
	10	❖ 情報社会			❖ デジタル情報の特徴／数値と文字の表現／演算の仕組み／音の表現／画像の表現／コンピュータの構成と動作／コンピュータの性能	
	11				❖ ネットワークとプロトコル／インターネットの仕組み／Webページの閲覧とメールの送受信／情報システム／データベースの仕組み／個人による安全対策／安全のための情報技術	
	12	❖ 情報デザイン				
	1	❖ デジタル				
	2	❖ ネットワーク				
評価の方法	定期考査・課題・実技課題・小テスト・実技テスト・振り返りシートを材料とし、観点に基づいて、総合的に評価する。					

